

科目名	健康増進障害予防概論	担当教員	世古 俊明 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	必修	1年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13CD	①、③、④					

科目概要	リハビリテーションの概念である医学的、社会科学的の側面を踏まえて、健康増進、障害予防、介護予防に関して、安全・管理・運営とその予防に関して理解する。
学習目標	① ヘルスプロモーションに関して説明できる。 ② フレイル（虚弱）の概念とその予防を説明できる。 ③ 各種疾患とその予防と健康増進を説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論. 1	健康増進・障害予防とは フレイル（虚弱）の概念とその予防.	健康増進や障害予防に対する予防医学の概念 やフレイルに対す予防の理念とその方法に関 して理解する。	
2	総論. 2	健康増進と社会保障論 健康増進のための栄養学	健康増進のための社会保障制度を理解する。 健康増進のための栄養に関して理解する。	
3	健康増進. 1	運動器疾患の障害予防と健康増進①	運動器疾患（骨粗鬆症）とその障害予防と健康 増進を理解する。	
4	健康増進. 2	運動器疾患の障害予防と健康増進②	運動器疾患（転倒骨折、変形性関節症など）と その障害予防のための健康増進を理解する。	
5	健康増進. 3	心・循環器系疾患の障害予防と健康増進①	心・循環器系疾患（動脈硬化、心不全など）と その障害予防のための健康増進を理解する。	
6	健康増進. 4	心・循環器系疾患の障害予防と健康増進②	心・循環器系疾患（高血圧）とその障害予防た めの健康増進を理解する。	
7	健康増進. 5	代謝障害疾患の障害予防と健康増進①	代謝障害疾患（高脂血症など）とその障害予防 のための健康増進を理解する。	
8	健康増進. 6	代謝障害疾患の障害予防と健康増進②	代謝障害疾患（糖尿病など）とその障害予防た めの健康増進を理解する。	
9	健康増進. 7	脳血管疾患の障害予防と健康増進①	脳血管疾患の成因とその障害予防のための健 康増進を理解する。	
10	健康増進. 8	脳血管疾患の障害予防と健康増進②	脳卒中片麻痺とその障害予防のための健康増 進を理解する。	
11	健康増進. 9	心と脳の健康増進①	睡眠障害とその障害予防のための健康増進を 理解する。	
12	健康増進. 10	心と脳の健康増進②	うつ病とその障害予防のための健康増進を理 解する。	
13	健康増進. 11	心と脳の健康増進③	認知症とその障害予防のための健康増進を理 解する。	
14	健康増進. 12	子どもの健康	子どものロコモティブシンドロームと障害予 防のための健康増進を理解する。	

15	まとめ	健康増進と障害予防とヘルスプロモーションの展望	我が国の現状から、今後の健康増進と障害予防、さらにヘルスプロモーションに関する展望を考察する。
	評価方法	筆記試験（90%）授業における応答・態度などの講義への関心度（10%）	
	課題に対するフィードバック	講義中および講義終了後、質問を受け付けて回答する。 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。	
	教科図書	特に指定しない（資料配布）	
	参考図書	『個別機能訓練指導マニュアル - 厚生労働省老人保健健康増進等事業研究報告のガイドラインに基づく』	
	学習の準備	特に予習は必要ないが復習は必須となるので、講義で理解が不十分である箇所を明確にして、次の講義で質問できるように準備などを行うこと（180分）	
	オフィスアワー	月曜日 10時～16時、その他在室時はいつでも可	
	担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験		